

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成27年7月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

※下記の数字は情報連絡員からの回答数を表します。
 (「好転(上昇、増加)」、「不変」、「減少(悪化、低下)」の3択回答のうち、「不変」を除く「好転」又は「減少」の回答数)

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は9から2に減少。「減少した」業種は9から10に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から6に減少。「減少した」業種は7のまま変化なし。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は2から1に減少。「悪化した」業種は6から11に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は7から4に減少。「減少した」業種は10から8に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は9から7に減少。「減少した」業種は8のまま変化なし。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は8から3に減少。「悪化した」業種は11のまま変化なし。

製造業

豆腐製造

【県内全域】

不当販売をなくすよう、行政等に対応している。大手メーカーも国産大豆等の付加価値の高い商品に重点を置くようになってきている。

牛乳小売

【県内全域】

千葉県牛乳商業組合と千葉牛乳普及協会協賛による、健康寿命応援宅配キャンペーン平成27年10月～平成28年2月まで実施する。(口コミティブシンドローム)骨と筋肉を強くしよう、口コミ予防は毎日の牛乳からをテーマに取り組む。

印刷

【県内全域】

景況の変化について、7月の県内組合員受注売上は、6月と比較して5%～10%減少した模様です。世間では夏季賞与支給増加の報道、更には緊急経済対策のプレミアム商品券販売開始等、経済活性化策による刺激で需要が着実に活発化しつつあると考えていますが、円安・デフレの影響から物価上昇を主婦の95%が感じていますし、国民の75%が景気が悪いと感じているは、消費が振るわず景況感は悪化と判断。

外環道や物流倉庫がけん引役で出荷増が続いているが、7月は雨

の影響で減少した。新規契約が減少しており、長期的には不安が残る。

鉄工

【千葉】

景況の変化について、これまでの報告と変化なく、横ばい推移中。昨年度決算(平成26年)について、未だ7社が赤字決算となり、前年対比改善には至らなかった。

機械部品製造

【流山】

受注に良い時、悪い時の波があるが、波の周期が見えない。

機械部品製造

【柏】

単月では動きが増えても、先行きは不透明でかつ停滞。特に中国の低さが問題。業界動向は、難易度は高まる一方です。

金属製品製造

【船橋】

7月までは、計画生産順調だったが、8月以降減産傾向にある。

採石

【県内全域】

景況の変化について、7月は台風の余波により東京湾の波浪が強く、船舶での搬出ができなかった日が続く、出荷量の減少を招いた。今後とも、千葉県産の石材の需要があるものの、供給に制限がある。

土砂採取

【県内全域】

対前月比で洗砂・山砂ともに低調気味である。業界動向は、どこ

も悪化傾向にあるが、後半は好転するのではないかと希望的な期待をしている。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

前年度は4月の消費増税の影響で第一四半期売上落ち込んでいたが、今年度は4月以降平年ペースの売上回復している。但し、円安影響・ガソリン価格の高騰からコストアップとなり、採算性は低調。団地の近隣に大型建設工事があり、工事人の通勤車両駐車場需要あり。

【建築材料卸売】 【県内全域】

景況の変化について、東京一極集中隣接県はあおりを食って低迷という構造はそのまま。オリンピック関連は見直しされるのだから、ゼネコンはそのまま受注体制維持。下請け孫請けの人手も確保したままなので、近隣県の本来やるべき工事が手つかず輸送も資材も様子見のままで停滞している。

【自動車解体】 【県内全域】

スクラップ価格さらに下落。業界動向は、本県ではないが、転廃業の話聞く一方、ものづくり補助金等の助成金を活用し設備を新

設する動きもある。

【乾物卸売】 【県内全域】

景況の変化について、引き続き低調だが、下げ止まりの傾向。組合の事業活動等は、千葉市と包括提携先であるセブンイレブンジャパンの協力を得て、海苔消費金額「首位奪還キャンペーン」海苔の町千葉」を展開中。千葉市内151店舗で「青混ぜ海苔」千葉海苔を使用した惣菜を販売。

【卸売業】 【茂原市】

景況の変化についてはあまり良好ではありません。消費の伸び悩みもさることながら、気温の上昇にも影響がありそうです。勝ち組と負け組の差があるように思われます。

【電気機器小売】 【県内全域】

景況の変化について、天候の関係で、エアコンの需要が活発になり、売り上げは増えてきたが、喜べる状態ではない。また見積もりの段階で、断れることが多い。価格が量販と違いすぎるからだと思われる。

【青果小売】 【千葉】

野菜類の価格が高止まりとなり、果物が思っていたより動きが悪い。仕入価格が下がらないので

収益はさらに悪化している。

【小売】 【東金】

ファッション関連品は、全体的に盛り上がり欠ける展開が続いている。夏のバーゲンも期待値には達していない。日用品関連は、動いているが客単価の減少傾向が続いている。食品関係は、商品の値上げも一段落したが客数が若干減少傾向。飲食店は、家族連れでの飲食が減って客単価が減少傾向。

【小売・サービス】 【柏】

景況の変化について、商店会的には天候不順に悩まされた。中旬までの雨天続き、その後の高温真夏日の連続で来街者が少なく午前と夕方以降の販売と成った感が強い。以前と変わりチラシ広告を商工会で積極的に出しているが今一反応が鈍い。柏市のプレミアムチケット発行の下支えがあったので数字的には何とか持ち堪えた感が強い。

【遊覧船】 【鴨川】

7月は、欠航3日、途中欠航5日、濃霧5日等天候不順の日が続き、売上が伸び悩んだ。

【一般廃棄物処理】 【千葉】

平成27年度も四か月が過ぎた

が、大きく目立った変化はないものの、昨年度と比べるといくらか良い状況であると思います。

【学習塾】 【県内全域】

夏期講習の受講生がやや減少気味。

【土木建築サービス】 【県内全域】

景況の変化について、政府の地方創生への取組みが進められる中で、6月の日銀短観では、民需主導の景気回復で出遅れていた中小企業にも改善の兆しと報じられているが、中国経済の減速やギリシャの債務返済問題など、海外経済の動向をリスクと見る動きもあり、予断を許さない状況。

【建設】 【県内全域】

5月・6月と公共工事落札額は、対前年同月比劣後を続けてきたものの前月（7月）は、対前年同月比20%強の増加となり、やや回復の兆しがでてきた。11地区の内、約8割の地区で前月を上回った。特に千葉市発注工事を受注した千葉市内の企業が好調。

【貨物運送】 【野田】

組合の事業活動等について、Gマーク、交通安全マネージメントなどの必要性が益々大きくなってきました。